

キュー・テックの2D-3D変換技術と高品位技術「FORS CINEMA」が 9/7公開の映画「キャプテンハーロック」に採用

株式会社キュー・テック（本社：東京都港区、代表取締役社長：梶尾 徹、以下キュー・テック）は、9/7公開の映画「キャプテンハーロック」（製作：東映アニメーション株式会社、監督：荒牧伸志）に、自社が持つ2D-3D変換技術、高品位技術「FORS CINEMA」が採用されましたことを発表いたします。

「銀河鉄道999」などで知られる松本零士の人気作「宇宙海賊キャプテンハーロック」がCGアニメーション映画として30年ぶりに映画化された本作品は、巨匠ジェームズ・キャメロン監督が「ぜひ3Dで観たい作品だ」と大絶賛するなど、そのクオリティーは世界中から注目を浴びており、ヴェネチア国際映画祭に正式招待され、米国の映画業界紙などでも高評を得ました。世界78カ国からオファーが殺到しており、日本国内では578スクリーンで公開されております。

今回キュー・テックは、本作品製作における2D-3D変換と編集、カラーコレクションとDCP作成作業を担当いたしました。

© LEIJI MATSUMOTO / CAPTAIN HARLOCK Film Partners
「キャプテンハーロック」公式HP
<http://harlock-movie.com>



■ 現場担当コメント【2D-3D変換担当：CGI部S3D監督 三田邦彦】

荒牧監督が、通常はカットを割るところを、カメラを回り込ませて1カットで見せたり、ものをゆっくり動かすなど「立体映え」する演出をされているため、物語の自然な流れの中で3Dが楽しめる作品になっていると思います。そして、その演出を活かすように我々も3D化できたと感じており、監督とはすごくいい形で作品作りを進めることができました。

巨大なスケール感を損なわない様に、通常より強い立体感で制作しましたが、「3Dの気持ちよさ」みたいなものを感じて頂ける仕上がりになっております。

■ 高画質・高音質技術「FORS」とは

「FORS（フォルス）=Faithful Original Signal」は、キュー・テック独自の高音質・高画質ブランドの総称で、「FORS CINEMA」はデジタルシネマに特化した高品質音場再現マスタリング技術です。ダビングステージで制作された音響を、シアターで忠実に再現します。

FORS™

キュー・テックの高画質・高音質ブランド
「FORS」紹介サイト <http://www.fors-qttec.jp>

キュー・テックは今後も2D-3D技術と「FORS CINEMA」により、高品質な3D劇場作品製作サービスをご提案してまいります。

本資料に関するお問合せ先

株式会社キュー・テック E-mail : info@qttec.ne.jp